

## 令和4年度第1回 蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議 会議概要

■日 時 令和4年7月28日（木） 午後1：30～2：45

■場 所 市役所仮設庁舎3階・委員会室

■出席者（敬称略）

委 員：林 大樹、植田 富美子、岡本 和子、長谷川 浩司、阿部 浩典、池田 憲一、  
笹渕 敏子、田中 雅子

（欠席者）永沢 映、鈴木 篤志

頼高英雄市長

事務局：阿部 泰洋（総務部長）、佐藤 則之（総務部政策企画室長）、  
島田 雅也（政策企画室主幹）、高木 勇輔（政策企画室主事）

■次 第

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 自己紹介

5. 会長選出

6. 議題

（1）会議の公開、傍聴に係る取り決めについて

（2）蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状について

（3）改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略実施状況について

（4）その他

7. 閉会

■内 容

【開会】

【委嘱状交付】

【市長あいさつ】

【自己紹介】

## 【会長選出】

会長に林委員を選出。

## 【議題】

### (1) 会議の公開、傍聴に係る取り決めについて

事務局から、会議の公開について概要を説明した。(資料3・4参照)

⇒会議の公開・傍聴に係る取り決めについて、資料3「蕨市審議会等の会議の公開に関する要綱」および資料4「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議の傍聴にかかる取り決め(案)」のとおり取り扱うことです承した。

また、傍聴の定員は、今年度は仮設庁舎を会場としていることから2人程度とし、今後は会場のスペースの限りで柔軟に取り扱うこととした。

### (2) 蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状について

### (3) 改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況について

事務局から、「蕨市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの現状について」(資料5参照)

及び「改定蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況について」(資料6参照)を説明した。

会 長：合計特殊出生率については、令和2年は国勢調査の実施年であることから多少高い値となっているとはいえ、依然としてその低さが気になる。県内では比較的出生率が高い吉川市で、以前、総合戦略に携わっていた委員がいらっしゃったが、蕨市と吉川市を比較するとどのような違いがあるか。

委 員：吉川市は、蕨市と異なり市街化調整区域が約8割を占めている。農地が広がっており、面積もかなり広い印象である。駅周辺を中心に開発により整備されてきており、今後も整備が進んでいくようだ。蕨市も駅前の再開発が進んでおり追い風になるところだろうが、土地の広さや開発の余地において蕨市との違いを特に感じる。

委 員：蕨駅の西口再開発に伴い、若い世代をそこに呼び込むためには、子育て施設や医療機関などの整備もあわせて行うことが必要だと考える。

委 員：以前から若い世代が近隣地域に転出する傾向にあり、気がかりである。

委 員：傾向として、蕨駅周辺で建てられるマンションはワンルームマンションや賃貸マンションが多いことから、利便性が高く若い世代に利用されている。一方で、

そうした住宅では定住につながりにくいと考える。西口再開発で供給される住戸はどのようなか。

事務局：ファミリー向けが多数であると聞いている。

委員：西口再開発が蕨のブランド力の向上につながると良いと思う。駅前に建設が予定されているタワーマンションについて、ハイブランドなエリアと比べればまだ手に届くような価格になると思うので、子育て世帯など若い年代層を呼び込めると良い。また、駅前商店街に関する取り組み、特に空き店舗の活用について注目している。

委員：駅前商店街の魅力を向上し、にぎわいを創ることが選ばれるまちにつながる。

委員：駅前商店街について、商店が廃業して住宅に姿を変えたり、コロナ禍でお祭りが中止になったりと寂しさを感じている。

委員：商店が廃業し住宅や駐車場が増えている背景には、商店のオーナーと土地・建物の権利者が異なるために、相続の際に商店の継承が難しくなっていると聞くが、現状はどのようなか。

委員：商店主と権利者が異なる例が多い。土地や建物の権利者が県外在住のため、地域の人が顔を知らないといった話を聞く。駅前商店街に関しては、貸店舗から駐車場や住宅などに置き換わっている。また、商店街のにぎわいに関して、空き店舗対策等にも力をいれているが、今年度からは、エリアごとにゾーニングし集中的な投資等で価値を高める、エリアリノベーション事業など蕨市中心市街地活性化プランに基づいた取り組みを推進している。

委員：近年、蕨市内の犯罪発生件数が減少傾向にある。自転車盗や窃盗が多いといった話も聞くが、減少している犯罪はどのようなか。

事務局：手元の資料では、自転車の盗難が多く減少していることがわかる。

委員：町会パトロールや駅前整備、放置自転車対策の推進、防犯カメラの設置など各種取組により成果をあげているものと思うので、引き続き取り組んでいきたい。

委員：自転車盗などの軽微な犯罪が主であっても、蕨市の犯罪発生率の高さを不動産

業者から聞き、転入を避ける例を聞く。引き続き、犯罪発生率を低下させることもファミリー層の流入につながると考える。

委員：安全安心で、住みよいまちづくりの推進により蕨ブランドを向上するとともに、子育て施策のいっそうの充実を進め、若い世代の転入につなげられるとよい。

**【その他】**

事務局より、今回頂いたご意見を基に会議録と意見書を取りまとめ、皆さんにご確認いただいた後、市ホームページでの公開と意見書の提出を行う旨を説明した。

以上